

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 米子工業高等学校

重点項目	社会人等資質育成重点校	提出日	令和 5年 4月 19日
------	-------------	-----	--------------

1 学校目標	
<p>1 心身の健全な育成と工業高校生としてのエチケット・マナーの実践</p> <p>2 キャリア教育による生きがいの創造</p> <p>3 持続可能な社会を創造し貢献できる工業人の育成</p> <p>4 地域ネットワークによる教育の実現</p> <p>5 向上心とワークライフバランスの実践</p>	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>1 3年間の体系・系統立ったキャリア教育による進路意識の高揚</p> <p>2 地域を担う社会人としての意識の高揚</p> <p><数値目標></p> <p>1 毎年度実施の学校アンケートで、以下の結果について、それぞれ80%以上を目指す。</p>	<p>1 コロナ禍であったが、県外企業見学を実施することができた。また、インターンシップは、全科が実施することができた。卒業生の定着指導と在校生への紹介等、生徒の進路意識の高揚に繋がる活動ができた。</p> <p>2 課題研究で木製ベンチ・ゴミストッカーを製作して、小学校や地域へ寄贈した。また、災害時をテーマとして各科取り組んだ。製作を通じて、生徒の達成感やユーザー目線での製作意識の高揚に繋がる活動ができた。</p> <p>また、高校生議会への参加や校則の見直しなどを生徒会を中心に取り組み、社会人としての意識の高揚に繋がる活動ができた。</p> <p><数値結果></p> <p>1 令和4年度学校アンケートの結果</p> <p>[生徒対象]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インターンシップは勉強になったし、充実していた」・・・ 90.2% ・「自分は実習を通じて、技術・技能が身についた」・・・ 91.2% <p>[保護者対象]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本校は、企業見学、インターンシップ等が充実している」・・・ 89.8% ・「本校は、将来にわたって役立つ教育が行われている」・・・ 95.7%

3 実施事業

【高等学校課事業】

1 キャリア教育充実事業

(1) 社会人となるための心構え

進路が概ね決定した3年生を対象にライフ&キャリア応援塾エール SMD 代表・宮崎努氏に「社会人になるための基礎力育成講座」と題しての講演会を実施した。

【独自事業】

1 工業高校生らしいエチケット・マナー・健全な心身育成事業

講師を本校のスクールカウンセラー小嶋和重氏に依頼し、新入生が高校生活の円滑にスタートできるように、クラスづくり及び自己肯定感を高める内容を実施した。

2 キャリア教育による進路実現

(1) 工業高校における授業改革

①指導力向上に向けた講習会への参加

「アーク溶接技術講習会」「建築をこれから楽しく学ぶ生徒への意識づけ」などのリモート講習会等に教員が参加し、指導力を向上させた。

②校内研修の充実

Find アクティブラーナーを導入し、オンラインでいつでも有名講師の授業などを視聴できるようにした。また、アクティブラーニングに関する県外講師を招へいし、全職員対象をはじめ県内高校の教員を対象とした研修会を実施した。

(2) インターンシップの実施

2年生 170 名が企業 68 社での就業体験をおこなった。そして、この体験を通して、職業人としての心構えや姿勢について学んだ。また、現場での実習を通して、専門的な知識や技術・技能に触れることで、専門教科への学習意欲の向上に繋がった。

(3) 進路学習の充実

①1年生 県内企業研修

電気科・環境エネルギー科・建設科は、地元企業の現場視察を行い、産業界全般に対する認識を深めさせ、将来の進路選択に一層明確な目標を立てさせた。

②2年生 県外企業研修

県外企業研修を実施し、企業における専門的かつ実用的な知識や技術・技能に見聞することで、専門教科への学習意欲の向上と進路意識の高揚に繋がった。

(4) 県外企業理解と定着指導

地元を中心に県内外の企業を訪問し、定着指導を実施した。その内容を踏まえキャリア塾で生徒に還元しミスマッチ、入社後の姿勢などを指導した。

(5) 大学進学希望者に対する指導体制の構築

基礎学力診断テスト、模試などを実施すると共に共通教科に依頼し、大学受験に対する補習を実施した。

4 総合所見 (成果・評価)

地域を担う社会人については、ゴミストッカー・ベンチなどを利用者の視点でものづくりすることで、他者に対して配慮する意識の向上に繋がった。また、防災に関するものづくりをとおして、生徒の防災への関心を高揚させた。

キャリア教育については、校内では系統だった指導を行い、生徒の進路意識の向上に繋がった。インターンシップ及び県外企業研修とも実施することができ、生徒の専門性への学習意欲、進路意識の高揚に繋がった。

これらの結果、令和4年度の就職希望者1次内定率は90.8%と好調な成果だった。